

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	EX568/法学基礎演習 (Introductory Seminar on Law)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	生と死を問う法律学		
担当者名 (Instructor)	土屋 裕子(TSUCHIYA YUKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX2910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	その他登録		

#### 授業の目標(Course Objectives)

人の生と死をめぐる問題を法的・倫理的側面から検討し、多角的な視点から物事を考察する力を身に付けます。

The purposes of this course are (1) to examine problems around human life and death from legal and ethical aspects and (2) to develop the ability to observe through a multifaceted perspective.

#### 授業の内容(Course Contents)

出生前診断、代理母出産、安楽死・尊厳死、脳死・臓器移植など、人の生と死をめぐる問題は多岐に渡ります。これらの問題は、「生命倫理」の問題として知られていますが、この授業では、生命倫理の問題を単に倫理的な側面からだけでなく、法的な側面からも考察します。

毎回、生命倫理に関する具体的な事例を取り上げ、全員で議論を行います。なお、この授業は「正しい答え」を提供するものではありません。答えのない問題に自分なりの答えを導き、様々な価値観を持つ仲間との議論を通じて、自分の価値観や既存の倫理観を再考してみましょう。

なお、下記の授業計画は一例であり、実際に授業で扱うテーマについては参加者の関心や希望により決定します。

A wide range of problems surround human life and death including prenatal diagnosis, surrogacy, euthanasia, death with dignity, brain death and organ transplantation. These are problems of bioethics, but this course considers them from a legal viewpoint as well.

Specific cases concerning bioethics are raised and then discussed among students, but the course is not intended to provide a "correct answer." All students should reconsider their values and existing ethical perspectives, then derive individual answers to problems that have no clear answers, and discuss them with others who have different values.

Note: The following course plan is only an example, and the actual topics to be covered will be determined according to the interests and wishes of the participants.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 【総論 1】インフォームド・コンセント
3. 【総論 2】自己決定権
4. 【出生をめぐる生命倫理 1】生殖補助医療
5. 【出生をめぐる生命倫理 2】代理母出産
6. 【出生をめぐる生命倫理 3】出生前診断・人工妊娠中絶
7. 【出生をめぐる生命倫理 4】着床前診断
8. 【医療をめぐる生命倫理 1】小児医療・新生児医療
9. 【医療をめぐる生命倫理 2】医療資源の配分問題
10. 【医療をめぐる生命倫理 3】生体間移植・臓器売買
11. 【死をめぐる生命倫理 1】脳死・臓器移植
12. 【死をめぐる生命倫理 2】安楽死・尊厳死
13. 【遺伝子をめぐる生命倫理】遺伝子技術
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

最先端のテーマを扱いますので、日頃から新聞やニュース等で医療や科学技術に関する情報に関心を持つようにしてください。なお、この授業では生命倫理に関する予備知識は必要としません。しかし、正解のない問題について根気強く考える忍耐力と探求心は必要となります。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

授業への貢献度(70%)/報告の内容(30%)

なお、正当な理由なく欠席回数が3回を超えた場合は単位を認めません。

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<選考方法>

採用人数:15名程度

配当年次:1年次

選考方法:レポート

- ① 題目:このゼミの志望理由と意気込み
- ② 字数:1,200字程度

ゼミ運営の都合上、合格後は必ずゼミに参加する意思のある方のご応募をお待ちしております。一人でも多くの方にご参加いただけるよう、ご協力をお願いいたします。

注意事項(Notice)